

ビタミン



推進計画」の取組みを紹介します～

もに関わるあらゆる機関、市民が連携・協力し、子どもの読書活動を支援する取組みを行っています

家庭でも読書の習慣を。「うちどく」のすすめ

「家読(うちどく)」とは、読書を通して家族の会話を深めてもらうための試みです。「家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す」ことを基本に、家庭でも楽しい読書の時間を習慣づけることを薦めています。

小郡市では平成21年度から「家読」を推進し、読書が食事や睡眠と同じように生活の一部となるよう活動しています。

家読新聞コンクール

家庭での読書の様子などを紹介する新聞「家読新聞」を家族で作って応募してもらう「家読新聞コンクール」は、本の魅力を伝え、読書の楽しさを市民みんなで共有したいという思いから始まりました。

最優秀賞を受賞した家族は、12月15日に行われた表彰式で清武教育長から表彰状を、記念講演会の講師のあべ弘土さん(絵本作家)からは記念品の絵本が手渡されました。優秀作品は図書館エントランスに展示し、「家読」の啓発を行いました。



モデル事業

今年度から三国保育所・三国幼稚園・のぞみが丘小学校をモデル校に指定し、「家読」推進のための事業を行っています。

①家庭での読書記録「うちどくダイアリー」の配布

「うちどくダイアリー」とは、家庭での読書の様子を記録する冊子で、推薦図書リストと一緒に園児、児童に配布しています。

ダイアリーには、「いつ」「だれと一緒に」「どんな本を読んだ」かを記録でき、子どもの成長とともに家族の読書の思い出をたどることができます。



②保護者を対象とした、読書に関する講演会の開催

各モデル校では保護者向けの講演会を行いました。

幼児期の読書体験、メディアが子どもに与える影響、父親による読み聞かせのすすめなど、さまざまな分野で活躍中の講師に、それぞれの観点から「家読」の大切さを語っていただきました。





読書は心の

～「第2次 小郡市子ども読書活動

小郡市では、子どもの生きる力を育てるために「小郡市子ども読書活動推進計画」を策定し、子ども。子どもの健やかな成長のために、みなさんの応援をお願いします。

赤ちゃんも大人も笑顔に!「ブックスタート」

小郡市では平成15年2月から10か月児健診の際にブックスタートを実施して、今月で10年を迎えました。

ブックスタートとは、保護者と赤ちゃんに、絵本を介した楽しい時間を過ごしてもらうことを願い、絵本を手渡す運動です。周りにいる大人が愛情のこもった声で語りかけることで、赤ちゃんは温かく安らかな気持ちになります。この心のやりとりが、赤ちゃんの健やかな成長にとって、とても大切です。

このブックスタートの効果を検証するため、福岡女学院大学の協力のもと、事業開始から2年の間にブックスタートの説明を受けた保護者を対象にアンケートを行っています。

このアンケートの集計結果は、図書館のホームページで過去3回分を公開しています。ぜひご覧ください。



▲絵本2冊と市内の育児情報紙などをプレゼント

小学校で活躍中「小学生読書リーダー養成講座」

みなさんは「読書リーダー」をご存じですか？

周りの人に読書の楽しさを伝える役割を担う読書リーダーは、読書活動の充実と読書習慣の定着を目的として、平成23年度から県の主催で始められた「小学生読書リーダー養成講座」で誕生しました。

今年度も小郡市では市の事業として取り組み、20人の児童が読書リーダーを目指して講座を受講しました。この講座は、おもに、本を手渡す際に必要なことを学び、小学校で図書委員や学校図書と協力して活動するための力をつける内容です。

実際にこの講座で学んだことをもとに、各小学校では読み聞かせ、本の紹介、図書館内の飾り付けなどの活動が行われました。昨年12月15日に行なわれた認証式では、清武教育長から認定証と記念品を渡され、読書リーダーの皆さんは自信とやる気に満ちた表情を見せていました。今後も各小学校でのさらなる活躍が期待されます。

